

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
水戸看護福祉 専門学校	平成20年3月27日	八文字和宏	〒310-0812 茨城県水戸市浜田2丁目16番地12号 (電話) 029-221-8050			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人八文字学園	昭和57年4月1日	八文字蓉子	〒310-0812 茨城県水戸市浜田2丁目11番18号 (電話) 029-221-8771			
目 的	学校教育法第82条の2に基づき、介護福祉士及び介護専門職として必要な知識・技術を修得させ、少子高齢化社会に対応する社会人としての教養と、豊かな人間性を兼ね備え、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とする。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
教育・ 社会福祉	教育・社会 福祉専門課程	介護福祉学科	2年(昼)	2172時間	平成21年文部科学 大臣告示第21号	-
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		1260時間	462時間	-	450時間	-
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人		43人		4人	8人	12人
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■前期：4月10日～9月30日 ■後期：10月1日～3月18日 			成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ■成績表(有・無) ■成績評価の基準・方法について 期末試験、出席状況等による4段階評価 	
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■学年始め：4月10日 ■夏 季：8月6日～8月30日 ■冬 季：12月24日～1月6日 ■学 年 末：3月18日 			卒業・進級条件	<ul style="list-style-type: none"> 進級：学則に定められた年次の科目を全て修得していること 卒業：所定の全教育課程を修了していること 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制(有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 面談や家庭訪問などの個別対応 			課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 各種ボランティアや地域イベントに参加 ■サークル活動(有・無) 	
主な就職先	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界 福祉施設、福祉関係企業、医療機関等 ■就職率100% ■卒業者に占める就職者の割合 100% (平成27年度卒業者に関する平成28年3月末時点の情報) 			主な資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉士、介護事務管理士、福祉住環境コーディネーター、 社会福祉法人会計簿記、メンタルヘルスマネジメント検定、心理 学検定、文書処理検定、福祉英語検定、認知症ライフパー トナー検定、レクレーション・インストラクター、福祉レクレーシ ョン・ワーカー、メイクセラピー検定 	
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学者 1名 ■中退率2.27% 平成27年4月1日在学者 44名(平成27年4月入学者を含む) 平成28年3月31日在学者 43名(平成28年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 療養のため、進路変更、就職、家庭の問題など ■中退防止のための取組 カウンセリング、関係機関(医療機関や行政機関)との連携 					
ホームページ	URL: http://www.mito.ac.jp/					

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

社会福祉領域において求められる人材の専門性に関する動向を適時把握し、それと本校の専門課程教育の内容を対応させ、常時、“社会”に要請される実践的かつ専門的な職業教育を実施することを、企業等の連携における基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 3 月 31 日現在

名 前	所 属
沼田 正人	一般社団法人 茨城県介護福祉士会 会長
小笠原 尚宏	学校法人常磐大学 常磐大学 人間科学部 助教授
田尻 進也	介護老人保健施設小川愛の杜 作業療法士
八文字 和宏	水戸看護福祉専門学校 学校長
埴 富美子	水戸看護福祉専門学校 総務部長
渡辺 修宏	水戸看護福祉専門学校 介護福祉学科長

(開催日時) 第1回 平成 27 年 11 月 19 日 14:00 ~ 16:00 第2回 平成 28 年 3 月 24 日 14:00 ~ 16:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

介護サービスを必要とする利用者はもちろん、社会全体から求められる介護福祉士となるよう、本校と社会福祉施設の連携によって OJT、Off-JT、SDS などさまざまな教育手法を駆使し、学生に必要な知識と技術を付与する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
介護実習	介護福祉実習は、介護福祉士養成課程の中核と位置づけられ、介護福祉施設で実施される。介護実習を通して、学生は介護福祉施設の現状や実習施設の理念、利用者に対する理解などを深める。そのような介護福祉施設の概要を理解するとともに、さらに利用者とのコミュニケーションを円滑に図ることができるようになり、対人援助職者として必要な知識と技術を習得する。	介護老人保健施設 介護老人福祉施設 障害者支援施設 在宅介護支援事業所など。

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

本校教員の教養力、研究力の向上は、そのまま学生へ付与する教育の質の向上に直結する。したがって、公私を越えて教員の自己啓発と推奨するとともに、積極的に研究発表することを求む。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 3 月 31 日現在

名 前	所 属
高橋 裕章	介護老人保健施設みかわ (卒業生)
糸野 光弘	グループホームぐるんぼの杜 (卒業生)
佐藤 和幸	(保護者)
和田 哲也	(保護者)
小幡 知史	障害児通所支援事業所 樹の子クラブ (地域住民)
大内 理嗣	学童保育施設ひまわり学童クラブ (地域住民)
小笠原尚宏	学校法人常磐大学 常磐大学人間科学部 助教授
田尻 進也	介護老人保健施設小川敬愛の杜 作業療法士

(学校関係者評価結果の公表方法) URL: www.mito.ac.jp/disclosure/index.html

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: www.mito.ac.jp/disclosure/index.html

授業科目等の概要

(水戸看護福祉専門課程介護福祉学科) 平成 27 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実習・実技
○			人間福祉論	尊厳の保持と自立支援の意義について学習する。	1 年前期	30	2	○		
○			人間関係論	人間関係を形成するにあたっての基礎を学ぶ。	1 年前期	30	2	○		
○			社会福祉の基礎	現代社会の状況を鑑みながら、社会保障制度について学ぶ。	1 年前期	30	2	○		
○			法と社会保障	介護実践を行うにあたっての諸制度を学ぶ。	1 年後期	30	2	○		
○			生活に生きる数学 (統計学)	統計学の基本を実生活場面をモチーフに学ぶ	2 年後期	30	2	○		
○			文化と礼作法Ⅰ (国際教養)	介護職の国際化を鑑み、国際的教養力を身に着ける。	1 年前期	30	2	○		
○			文化と礼作法Ⅱ (美容福祉)	美容の視点を取り入れた、整容や清潔の支援について学ぶ。	2 年前期	30	2	○		
○			法学	社会福祉制度の基本となる憲法をはじめとする法体系を学ぶ。	1 年前期	30	2	○		
○			介護福祉論Ⅰ	介護従事者としての基本的な視点を学ぶ。	1 年前期	60	4	○		
○			介護の基本 (衣食住)	介護従事者としての基本的な視点を学ぶ。	1 年及び 2 年次	90	6	○		
○			介護の基本 (リハビリ)	ADL・IADL の援助方法及びリハビリ職との連携を学ぶ。	2 年前期	30	2	○		
○			コミュニケーション	対人援助専門職に必要なさまざまなコミュニケーションスキルを学ぶ。	1 年後期	30	2		○	
○			行動支援 (応用行動分析)	行動が理論に即した対人援助の理論と技術を学ぶ。	2 年後期	30	2	○		
○			生活自立支援技術	実践的介護技術を高めるために基礎的な介護技術を学ぶ。	1 年及び 2 年次	180	6		○	
○			住環境支援技術	適切な住環境支援を用いて、安全に援助できる技術や知識を学ぶ。	1 年前期	60	4	○		
○			生きがい支援技術	レクリエーションの概要を学び、社会福祉領域でのレクリエーションの展開を学ぶ。	2 年後期	120	8		○	
○			介護過程理論	生活者の意義を重要視しながら、介護過程の基礎を学ぶ。	1 年前期	90	6	○		
○			介護過程実践	介護過程の基本的な考えを踏まえながら、実践者としての介護過程を学ぶ。	2 年前期	60	4	○		
○			介護総合演習Ⅰ	介護福祉実習に臨むにあたっての姿勢や態度、学習目標を学ぶ。	1 年前期	64	2		○	

○		介護総合演習Ⅱ	介護福祉実習に臨むにあたっての姿勢や態度、学習目標を学ぶ。	1年後期	36	1		○	
○		介護総合演習Ⅲ	介護福祉実習に向けての自らの学習課題を設定し、それを達成するための方策を練る。	2年前期	32	1		○	
○		介護実習Ⅰ	介護福祉施設の概要を理解し、コミュニケーションの仕方を学ぶ。	1年	200	4			○
○		介護実習Ⅱ	介護福祉施設の概要を理解し、コミュニケーションの仕方を学ぶ。	2年	250	6			○
○		基礎心理	対人援助職としてのメンタルヘルスケア及び人間の発達段階を学ぶ。	1年後期	30	2	○		
○		生涯過程	対人援助職としてのメンタルヘルスケア及び人間の発達段階を学ぶ。	2年後期	30	2	○		
○		認知症の理解Ⅰ	認知症に関する基礎的な知識を習得する。	1年前期	30	2	○		
○		認知症の理解Ⅱ	認知症に関する基礎的な知識を習得する。	1年後期	30	2	○		
○		障害の理解Ⅰ	障害と障害者、および障害福祉にかかわる制度と技術を学ぶ。	1年後期	30	2	○		
○		障害の理解Ⅱ	障害と障害者、および障害福祉にかかわる制度と技術を学ぶ。	2年後期	30	2	○		
○		基礎医学Ⅰ	対人援助専門職に必要な基礎的な医学を学ぶ。	1年後期	60	4	○		
○		基礎医学Ⅱ	対人援助専門職に必要な基礎的な医学を学ぶ。	2年前期	30	2	○		
○		精神保健	精神保健領域の要援助者とその家族、支援技術について学ぶ。	2年後期	30	2	○		
○		レクリエーション活動援助法	レクリエーションの意義及び援助者の役割を学ぶ。	1年前期	60	2		○	
○		国家試験対策	介護福祉士国家資格試験受験にむけた総合的な学習	2年後期	60	4	○		
○		アクティブコンピュータ	介護現場で求められる文書処理技術の基本操作を習得する。	1年及び2年次	90	3		○	
○		卒業研究	2年間の学習の総まとめとして卒業研究を行い、発表する。	2年通年	90	6		○	
合計				36 科目	2172 単位時間(109 単位)				